

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 伝染性紅斑

定点当たり2.95人と、多い状況が続いています。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、注意が必要です。

2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.14人と、多い状況が続いています。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

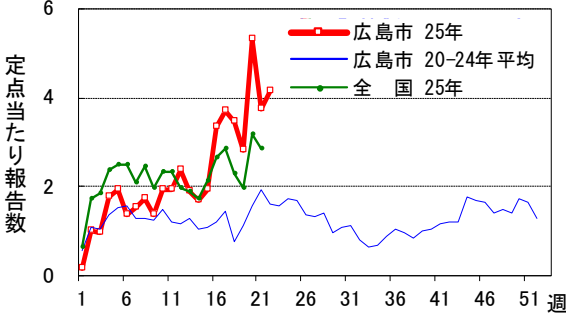
3 百日咳

28件の報告があり、多い状況が続いています。いずれの年齢でもかかりますが、乳児では重症化しやすく特に注意が必要です。

4 流行性角結膜炎

定点当たり2.13人の報告があり、増加しています。アデノウイルスを原因とする急性の結膜炎で、感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2432	71.53			⇒	小児科	突発性発しん	6	0.27	0.41		
	インフルエンザ	8	0.24	0.44				ヘルパンギーナ	2	0.09	0.19		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	25	0.74			⇒		流行性耳下腺炎	4	0.18	0.06		
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	1.26			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	19	0.86	0.50		⇒		流行性角結膜炎	17	2.13	0.45		↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	91	4.14	1.61		⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	162	7.36	4.95		⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.06		
	水痘	6	0.27	0.12				マイコプラズマ肺炎	2	0.33	-		
	手足口病	9	0.41	0.88				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	65	2.95	0.02		⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	-		

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	49	80歳代
4	レジオネラ症	1	8	70歳代・市外
5	水痘(入院例に限る)	1	2	40歳代
5	梅毒	2	61	20歳代・2人
5	百日咳	28	294	10歳未満・4人、10歳代・12人、20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・4人、50歳代・3人、60歳代・1人、80歳代・1人

